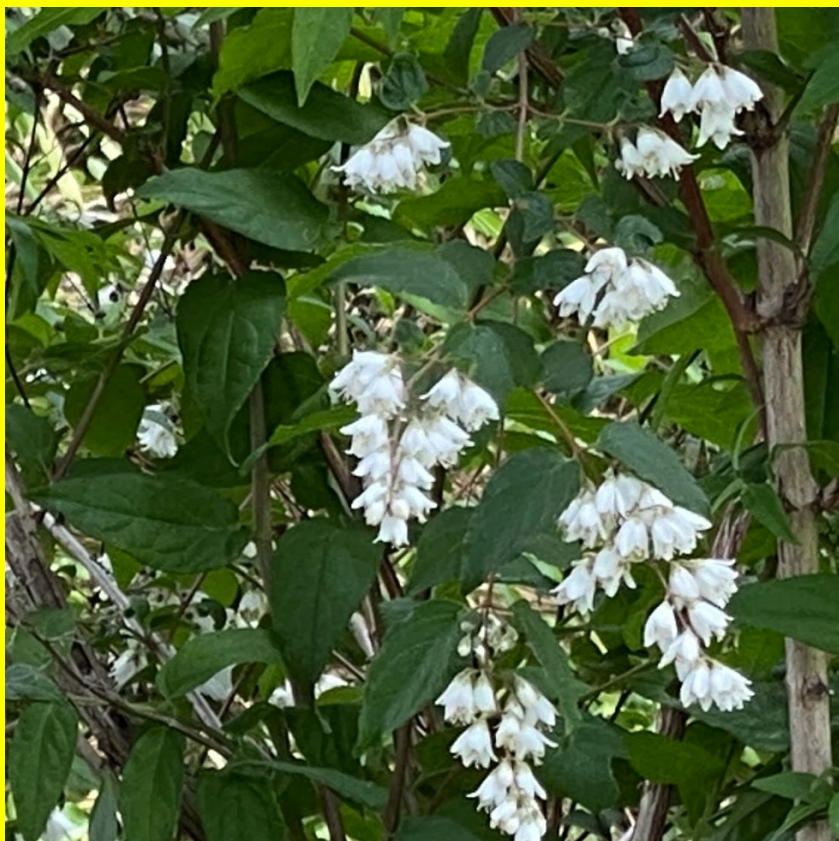


3. 夏の万葉植物(旧暦4月-6月)

現代名 ウツギ、ヒメウツギ
空木



2021年5月10日撮影 くぬぎ橋付近

うのはな 卵の花

卷8-1472 石上堅魚

霍公鳥（ほととぎす）
来鳴き響もす
卵の花の
共にや来しと
問はましものさ

現代名 エゴノキ
別名 萵苣(チシャ) 毒



ちさ 萵苣

卷11-2469 柿本人麻呂

山萵苣(ちさ)の
白露重み
うらぶれて
心も深く
我が恋やまず

2021年5月10日 くぬぎ橋付近

現代名 ノビル 野蒜

ひる 蒜

卷16-3829 長忌吉麻呂(ながのおきまろ)



2022年6月1日 玉川上水土手

醬酢(ひしおす)に
蒜(ひる)に撞(つ)きか
てて
鯛願う
我れにな見えそ
水葱(なぎ)の羹(あつ
もの)

現代表記 オミナエシ

秋の七草



2021年6月24日 小金井橋東側

をみなへし 女郎花

10-2115 作者不明

散らまく惜しも
この白露に
女郎花
袖さへにほふ
手に取れば

アワ 粟

画像はエノコログサ (粟
の原種) (食用可)を表示



2020年7月14日撮影 玉川上水周辺

あわ 粟

巻14-3364 作者不詳 :

足柄の
箱根の山に
粟蒔きて
実とはなれるを
粟なくもあやし

ヒルガオ 昼顔

かほばな 容花

万葉集 卷8-1630 大伴家持：



高円の
野辺の容花
面影に
見えつつ妹は
忘れかねつ

2020年7月14日撮影 玉川上水周辺

ヤブラン 藪蘭
説有り



やますげ 山菅

万葉集 卷11-2456 柿本人麻呂：

ぬばたまの
黒髪山の
山菅に
小雨降りしき
しくしく思ほゆ

2020年7月18日撮影 仙川遊歩道

カンゾウ 萱草



2020年7月19日撮影 玉川上水周辺

わすれぐさ 忘れ草

卷11-2475 柿本人麻呂歌集

我がやどは
薨しだ草
生ひたれど
恋忘れ草
見るにいまだ生ひず

ユズリハ 楫

ゆづるは **弓弦葉**

卷18-0111 弓削皇子(ゆげのみこ):



いにしへに
恋ふる鳥かも
弓弦葉の
御井の上より
鳴き渡り行く

2020年7月20日撮影 曙公園

ツタ類一般

画像はテイカカズラ 定家葛
名は藤原定家に由来



2020年7月20日撮影 仙川沿い

つな 綱

巻6-1046 作者不詳 :

岩綱の
またをちかへり
あきによし
奈良の都を
またも見むかも

現代名 コウゾ 楮

ゆふ木綿

卷6-909笠金村 吉野賛歌:



2020年7月20日撮影 曙橋

山高み
白木綿(ゆふ)花に
おちたぎつ
瀧の河内は
見れど飽かむも

ハハコグサ 説有

春の七草の御形



2020年7月20日 玉川上水周辺

にこぐさ 和草

卷11-2762 作者不詳

葦垣の
中の和草(にこぐさ)
にこやかに
我れと笑(え)まして
人に知らゆな

ヨモギ 蓬

蓬餅とモグサの素:



2020年7月20日撮影 曙公園

よもぎ 余母疑

卷18-4116 大伴家持:

大君の
任(ま)きのまにまに
取り持ちて
仕ふる国の…
あやめぐさ
余母疑かづらき
酒みづき…
(長歌)

現代名 コケ 苔:



こけ 蘿

万葉集 卷6-0962 葛井広成 :

奥山の
岩に苔生し
畏くも
問ひたまふかも
思ひあへなくに

2020年7月20日撮影 桜堤水辺公園

ヒオウギ 檜扇

ぬばたまは本種の実

万葉集 卷6-0925 山部赤人：



ぬばたまの
夜のふけゆれば
久木生ふる
清き川原に
千鳥しば鳴く

2020年7月20日撮影 仙川周辺
この画像は花の裏側。表に黒ごまあり。

現代 ツル性植物一般の美称
画像はテイカカズラ
真葛(サナカズラ)説も有り



2020年7月20日 仙川

たまかづら 玉葛

卷2-0101 大伴安麻呂:

玉葛
実成らぬ木には
ちはやぶる
神ぞつくといふ
ならぬ木といふ

現代名 ツユクサ 露草
薬用: 鴨跖草(解熱、腹薬)、
食用可



2020年7月22日撮影 曙公園

つきくさ 月草

卷4-0583 大伴坂上家乃大娘 :

月草の
うつろひやすく
思へかも
我が思ふ人の
言も告げ来ぬ

アジサイ 紫陽花
薬草で毒草 日本原産:



あぢさゐ 安治佐為

卷20-4448 橘諸兄 :

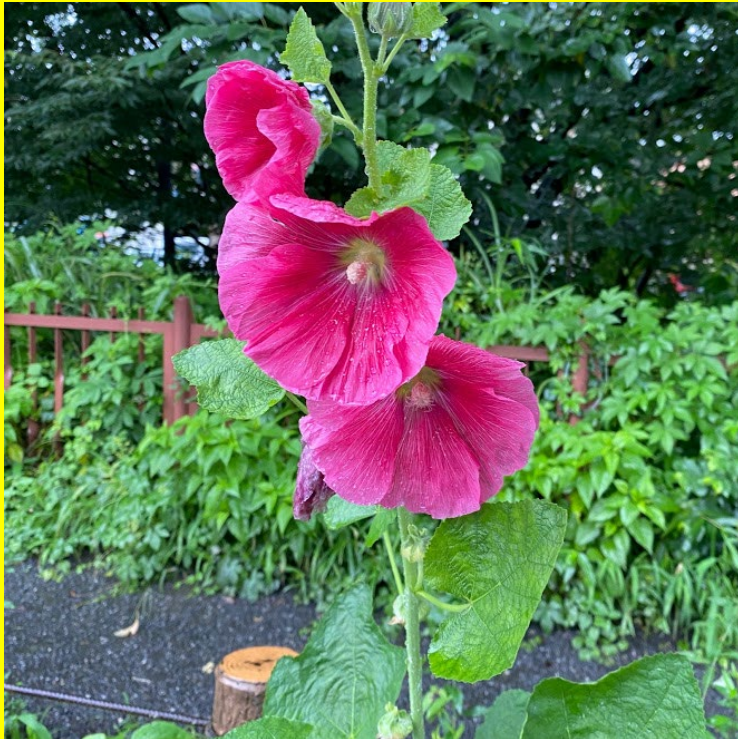
安治佐為の
八重咲く如く
弥(や)つ代にき
いませわが背子
見つつ思(し)の(ば)ぬ

2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

タチアオイ 立葵、説あり

あふひ 葵

卷16-3834 作者不詳：



2020年7月23日撮影 上水曙橋付近

梨棗(なつめ)
黍(きみ)に粟(あは)
延(は)ふ葛(くわ)の
後(のち)も逢(あ)はむと
葵(あふひ)花(はな)咲(さ)く

現代名 ヨメナ(カントウヨメナ)
嫁菜

うはぎ 菟芽

卷10-1879



2020年7月23日撮影 梶野橋付近

春日野に
煙(けぶり)立つ見ゆ
娘子(をとめ)らし
春野のうはぎ
摘みて煮らしも

ヘクソカズラ 屁糞葛:



2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

くそかづら 屎葛

万葉集 卷16-3855 高宮王 :

さうけふに
はひおおとれる
屎葛
絶ゆることなく
みやづかへせむ

ヌルデ 白謬木 説有

かづのき 可頭乃木

万葉集 卷14-3432 東歌(相模)



足柄の
わを可鶏山の
可頭乃木の
我をかづさねも
かづさかずとも

2020年7月23日撮影 玉川上水土手

ヤエムグラ 八重葎/
カナムグラ 鉄葎



むぐら 年具良

卷19-4270 橘諸兄 :

年具良延ふ
癒しき宿も
大君の
座さむと知らば
玉敷かましき

2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

カラムシ 桌
万葉集時代は
繊維の材料



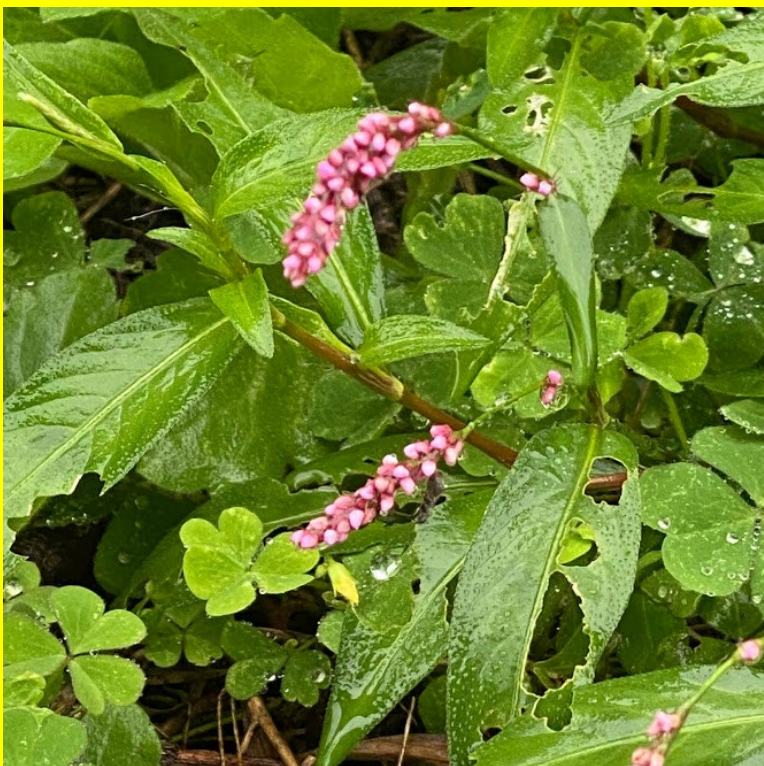
むし蒸

卷4-0524 藤原麻呂：

蒸ぶすま
なごやが下に
伏せれども
妹とし寝ねば
肌し寒しも

2020年7月23日撮影 玉川上水土手

現代名 イヌタデイヌ 犬蓼
イヌ:役に立たないの意



2020年7月23日撮影 上水新橋周辺

たて 蓼

卷16-3842 平群朝臣:

童ども
草はな刈りそ
八穂蓼を
穂積の朝臣が
腋草を刈れ

現代名 イヌヒエ 稗
稗の原種



2020年7月23日 玉川上水周辺

ひえ 稗

万葉集 卷11-2476 作者不詳：

打つ田には
稗はしあまた
ありといへど
選(えら)えし我れ
ぞ
夜をひとり寝る

現代表記 ナデシコ 撫子
撫でし子の意 秋の七草

なでしこ 那泥之古

卷8-1538 山上憶良



萩の花
尾花葛花
なでしこの花
をみなへし
また藤袴
朝顔の花

2020年7月23日 梶野橋付近

タブノキ 榊の木

丸木舟の材用のひとつ



つまま 都萬麻

万葉集 卷19-4159 大伴家持：

磯の上の
都萬麻を見れば
根を延(の)へて
年深かりし
神さびにけり

2020年7月25日撮影 桜堤遊歩道

現代名 スベリヒユ、説有り
食用可



2020年7月29日 あけぼの公園

いわるづら伊波為都良

卷14-3378 武蔵国東歌 作者不明

入間道(いりまぢ)の
於保屋(おほや)が原
のを
伊波為都良(いわる
づら)
引かばぬるぬる
我(わ)にな絶えそね

現代名 コウゾ 楮



2020年7月30日 玉川上水曙橋付近

たへ 妙, たく、ゆふ

卷1-28 持統天皇

春過ぎて
夏来るらし
白妙の
衣干したり
天の香具山

女帝
読み方はいくつか有り
百人一首の2首目

マユミ 真弓

弓の材料



まゆみ 真弓

万葉集 卷2-096 久米禅師 :

みこも刈る
信濃の真弓
わが引かば
貴人(うまひと)
さびて
否と言はむかも

2020年7月30日撮影 玉川上水土手

檜 ヒノキ

ひ 松

卷7-1118 柿本人麿 :



いにしへに
ありけむ人も
我が如(ごと)か
三輪松原に
かざし折りけむ

2020年8月1日撮影 桜堤遊歩道

現代名 シノダケ



しの 小竹

卷1-0045 柿本人麻呂 :

(長歌)

やすみしし

我がおおきみ

高照らす

：

小竹(しの)を押しなべ

草枕

旅宿りせず

いにしへ思ひて

2019年8月4日撮影 梶野橋周辺

現代名 竹類



2020年8月4日撮影 玉川上水土手

たけ 竹、多毛、太気真竹

万葉集 卷9-1677 作者不詳 :

大和には
聞こえも行くか
大我野の
竹葉刈り敷き
廬り(いおり)(せりとは

現代名 無し
サクラの皮 桜の皮

万葉名 かには 櫻皮

卷6-3432 山部赤人



(長歌)

あぢさはふ

妹が目離(か)れて

敷~~新~~(しきた)の

枕もまかず

櫻皮(かには)巻~~き~~

：

現代名 ネムノキ
合歡木 花期は夏



2023年11月2日 上水関野橋東側

ねぶ **合歡**

卷8-1461 紀 郎女

昼は咲き

夜は恋寝(ぬ)る

合歡の花

君のみ見ぬや

戯奴(わけ)さへに見よ

現代名 センダン 梅檀

薬草 日本原産



2023年12月7日 桜堤公園付近

YGD-202

あふち 安布知 棟:

万葉集 卷17-3910 大伴書持:

玉に貫(ぬ)く
安布知(あふち)を家に
植(う)えたらば
山(やま)霍(くわ)公(こう)鳥(とり)(ほととぎす)
離(か)れず来(き)むかも